

第 19 回 ミナミ 活性化協議会 代表者会議 結果

1 日時

令和 6 年 1 月 29 日（月）午後 2 時から

2 場所

大阪市中央区難波 4 丁目 3 番 3 号

ホテルロイヤルクラシック大阪 3 階「麗・壽」

3 出席者（敬称略）

役	職	氏 名
大阪府知事		吉村 洋文
大阪市長		横山 英幸
大阪府警察本部長		向山 喜浩
ミナミ 歓楽街環境浄化推進協議会会長		岡本 敏嗣
ミナミ 歓楽街環境浄化推進協議会 発起人		福長 徳治
大阪商工会議所副会頭		吉田 昌功
関西経済同友会 常任幹事・事務局長		廣瀬 茂夫

4 意見交換（発言要旨）

○ ミナミ 歓楽街環境浄化推進協議会会長

まず、この度の石川県能登地方の震災に際し、被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。一日も早いご復興を心よりお祈り申し上げます。

さて、このミナミ 活性化協議会代表者会議は、平成 17 年の第 1 回目の会議開催以来、今回で 19 回目となり、今年度も無事に開催されたことに対し、関係者の皆様方には心より感謝申し上げます。

当協議会設立以来、行政、警察、関係機関、団体、地元が連携しながら様々な取り組みを行い、その結果、「平成 22 年には建築物の用途を制限した宗右衛門地区計画条例の制定、宗右衛門通りの無電柱化、石畳化」、「平成 25 年には心斎橋筋商店街における景観協定、平成 28 年には戎橋筋商店街における建築協定の締結」を行うなど、ミナミのブランド力向上とにぎわいある健全な街づくりに向けて取り組んできました。また、このほどなんさん南北通りにおかれても、道路空間再編を機に建築協定を締結されました。

今後、ますますミナミの街を活性化するために、本日、私からは、ミナミ 歓楽街

環境浄化推進協議会を代表しまして、「安全安心で快適なまち」「魅力とにぎわいのあふれるまちの実現に向けて」の2つの観点から、現状の説明と要望を行いたいと思います。

はじめに、客引き問題については、平成17年の当協議会設立当時と比べ、客引き行為者は減少し、一定程度改善されてきていると感じています。そのほか、違法風俗店等の摘発、暴力団等の犯罪組織の取締り、「グリ下」における少年補導活動など、大阪府警察全体でミナミの治安維持と環境浄化に取り組んでいただき、大変心強く感じており、深く感謝申し上げます。

大阪市におかれましても、平成26年に全国初となる客引き適正化条例を制定されて以降、客引き適正化指導員による巡回、指導及び店舗への立入調査を行うなど、また、令和3年には条例を改正し、常習的な違反者に対する過料処分までのサイクルを短くするなど、客引きの適正化を図っていただいております。さらには、アルバイト感覚で客引きを行う大学生の対策として、各大学を訪問しての啓発活動や、デジタルサイネージを活用した啓発動画を放映するなどの取り組みをしていただき、心より感謝申し上げます。

しかしながら、2025年に大阪・関西万博を控え、大阪は日本の玄関口として、ますます国際都市としての役割が求められており、安心してミナミの街を歩けるような対策をしておくことが非常に重要であります。そのためにも、悪質な客引き行為者の排除に向け、指導員の増員や更なる効果的な市条例の改正、取締りの強化などを検討していただきたいと思います。地元といたしましては、警察、行政と連携を図りながら、夜間パトロールの実施、違法風俗店や悪質店舗の排除など、まち全体として、違法な客引き等を許さない気運醸成に取り組んでまいりますので、ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

次に、放置自転車やはみ出し看板など、歩行者の安全、安心な通行環境の確保につきまして述べたいと思います。これまで、大阪市が地元の要望を取り入れて、駐輪場附置義務条例の改正による規制緩和、放置自転車の撤去活動、駐輪場の増設を、また大阪府警察・大阪市には地元の活動に合わせたはみ出し看板の是正指導などを精力的に進めていただき、厚く感謝申し上げます。

一方でコロナ後の現在、放置自転車が増加傾向にあり、道路空間再編を機にミニエリアの環境改善と活性化を図る取り組みとして官民による自転車ワーキングが設置され、1500人以上への聞き取り調査や、対策強化で効果の出ている他の自治体の取り組みの研究も進めていただきました。その中で建設局におかれては、昨年11月にはリアルタイム撤去の試行を思い切って実施していただき、ありがとうございました。今後の成果を大いに期待しているところであります。

また、地元といたしましても、ミナミで働く店舗経営者や従業員、来訪者に対して駐輪マナーなどを啓発し、放置自転車やはみ出し看板の解消に向けてパトロール

を行うなど、できる限りの取組みを行っておりますが、大量の放置自転車は回遊性や景観を損なうばかりか撤去の及ばない場所では緊急車両の進入を妨げ、国際観光エリアとして由々しき状況と懸念しています。

現在の取組みを分析の上、より効果的な対策を実現するために、大阪市においても引き続き、地元との緊密な意見交換や情報交換を通じ官民の智恵と対策の強化により現状の打破に取り組んでいけるよう、よろしく申し上げます。

次に、魅力とにぎわいのあふれるまちについてですが、外国人旅行者数は、一昨年 10 月に新型コロナの水際対策が大幅に緩和されて以降、急激に回復してまいりました。昨年 10 月には令和元年同月比 100.8%の 251 万人となり、過去最高となった令和元年の実績を、新型コロナ拡大後初めて上回りました。今後、2025 年に開催される大阪・関西万博や IR 誘致により、ミナミの街にますます多くの観光客が訪れることが見込まれます。そういった観点からも、「なんば駅前の広場化」は、世界を惹きつける観光拠点を形成するものとして、ミナミだけでなく、大阪・関西の活性化のためにも重要な取組みであると考えております。

昨年 11 月 23 日に広場部が先行オープンし、2025 年にはなんさん南北通りを含めた全体完成が予定されております。先行オープンされた広場部では、当初掲げた上質な憩いの空間がまさに実現され、大阪市となんば安全安心にぎわいのまちづくり協議会とで協働し維持管理ならびに利活用の運用の試みが始まっており、万博に向けて今後ますますにぎわいが広がり、大阪の新しいシンボルにふさわしい広場になることを大いに期待しております。

引き続き、安全かつ円滑な工事の進捗をお願いするとともに、広場においては、関西・大阪そしてミナミ地域の魅力創出や活性化に向けて、地域の方々や公的な機関に活用していただくとともに、広場の持続的かつ効果的な運営の実現とそのための方針の適用に向けて、官民連携で取り組んでいくことが必要だと考えますので、引き続き大阪府・大阪市・大阪府警察をはじめ、ここにお集まりの皆様のご協力とご支援をお願いします。

大阪のメインストリートである御堂筋の活性化につきましては、平成 31 年 3 月に策定した「御堂筋未来ビジョン」に基づき、千日前通から道頓堀川区間の側道歩行者空間化の整備は完了し、現在は、道頓堀川から長堀通区間の整備をしております。整備にあたっては、地元と関係機関が協議を重ね積極的な提案を行うとともに、昨年は「御堂筋チャレンジ 2023」等の社会実験を実施するなど空間活用の実験を積み重ねておられます。さらに、この空間再編を機に機運が高まり、地元では環境改善と活性化の一体を図る取組みが進んでいます。例えば、御堂筋と東西の商店街の連携や宗右衛門町においては歩行者空間化の推進、更にビッグデータを駆使して回遊を消費につなげていくための取組みも始まっています。万博に向け、世界水準のメインストリート御堂筋として、より一層の活用と発信をはかっていく

上で実験の成果を活かして官民で制度や運用面での工夫をお願いします。

また、完成以来 19 年目となるとんぼりリバーウォークは、官民一体となった取組みや管理運営を委託されている南海電鉄様の努力もあり、多くの観光客でにぎわっていますが、秩序ある空間、高質な景観・環境を保っていくことが、今後の観光ニーズの高度化への対応になるに違いないと思っています。今後、観光客が戻り、歩行者が輻輳する状況が見込まれる中、御堂筋の空間整備を進めば、なんさん通りからなんば駅前、御堂筋、さらには道頓堀川までの一帯における人中心の空間が、大阪・関西万博が開催される 2025 年春に完成します。ミナミに構築された、歩きやすく安全で楽しい憩いの空間を官民で連携して活かし、さらに伝統的なミナミ地区と一体となって、大阪全体の観光の振興に貢献できるものと思います。

人優先の空間整備に向け、世界を惹きつける観光拠点を形成するなんば広場と、御堂筋の歩行者空間の再編が、大阪の価値を上げることは間違いありません。そして、これら公共空間と一体に「風情あるミナミのまち」へと人々の回遊・滞在が生まれるものと信じています。その実現のためには、地元の熱意だけでは困難であり、行政、関係機関のお力添えが必要です。

行政におかれましては、地元とビジョンを共有し、より一層リーダーシップを発揮していただき、事業化に向けての予算化や運用面など、前例にとらわれない、スピード感のある思い切ったご対応をお願いしたいと思っています。

最後になりましたが、今後とも行政、警察、経済界、賛同団体の皆様からのご支援、ご協力をいただきながら、ミナミの更なる活性化に向けて活動を推進してまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

○ 大阪府知事

始めに、能登半島地震によりお亡くなりになられた方のご冥福を心からお祈り申し上げます。また、被災された全ての皆様に心よりお見舞い申し上げます。大阪府においては、発災直後から大阪市と協力し、また関西広域連合や府内市町村とも連携し、被災地への支援物資、職員の派遣、衛生環境、住宅等、支援活動を行っているところです。今後も引き続き、出来る限りの支援をしていきたいと思っています。

さて、岡本会長、福長発起人をはじめ、ミナミ活性化協議会にご参画の皆様におかれましては、日ごろからミナミのまちづくり、魅力創出、安全、安心なまちづくりにご尽力いただいていることを、この場を借りて深く感謝申し上げます。

ミナミといえば大阪の顔ですから、国内外を問わず「大阪といえばどんなイメージですか」と聞けば、多くの方がミナミをイメージに持たれていると思っています。

だからこそ、ミナミのまちづくりというのは非常に重要だと思っています。ミナミは大阪の個性、万博でいうとファーストパビリオンというようなところであって、大阪が個性を発揮するのは、ミナミが個性的であるからだと思っています。その結

果、みんなが魅力にひかれてこちらに集まってくるのだと思っています。

なんば駅前では、昨年「なんば広場」がオープンしましたが、「車が集う空間」から「人が集う空間」になったことは、非常に大きいことであると思っています。これをどれだけ生かしていけるかは、我々と地元の皆様がいかに協力してやっていくか、そして、いかにこの場所に魂を吹き込んでいくのかが大事だと思っています。

また、現在御堂筋の歩行者空間化が進んでいますが、御堂筋が「人が集う空間」になり、北に上っていくと、都心の緑の公園としてうめきたが今年の秋に先行オープンする予定です。万博が始まる頃には、マンション棟以外は、ほぼ完成しますので、つまり今年から来年の万博までにかけて、うめきたからなんば広場が御堂筋で繋がり、「人が集う空間」が更に広がります。この場所は、大阪が発達するために非常に重要な役割を担ってくると思います。2025年の大阪関西万博まで、いよいよ1年となり、たくさんの方が国内外から大阪に来られます。未来社会を作っていく、150か国が大阪に集まり、そして6か月間共に暮らします。「いのち輝く未来社会とは何だろう」というのを全員で問いを立てながら、最新の技術と新しい価値観で未来社会を作っていくということが、大阪の地で行われます。色々な課題が指摘されていますが、課題を乗り越えてすばらしい万博を、必ず横山市長とも協力し、また経済界の皆様、そしてここにいらっしゃる皆様と一緒に、すばらしい万博を作って、次世代に残していきたいと思います。

万博の期間中には、2,800万人の方々が、国内外から大阪に来られます。万博で未来社会を体験し、その価値観を共有しながら、その人たちはどういう動線になるかということ、万博だけでは当然終わらず、必ず、大阪の都心部ミナミであったり、キタであったり、大阪で買い物をしたり美味しいものを食べたり、ビジネスをしたりすることになると思います。そういった意味では、このミナミ活性化協議会、地元の皆様、そして行政、警察、経済界が協力してすばらしいミナミを作っていく、ミナミを活性化していくということが非常に重要なことだと思います。

なかでも、この協議会の一つの大きな目的である治安、安全対策ですが、大阪には魅力がありますから、万博の際には海外だけでなく、国内からも多くの方がこちらに来られることが予想されます。その時には、ミナミのイメージが、そのまま大阪のイメージになるのだと思います。もし、ミナミに来られて、犯罪にあたりすれば、それがそのまま大阪のイメージになるだろうし、そういった意味では、安全で安心して訪問できる、過ごせる空間を作ることが、何より大事であると考えます。もともとミナミには魅力があるわけですから、安全で安心に遊べる街であることが、すごく大切なことだと思っています。そういった観点から、地元の皆様には、大阪市、大阪府、大阪府警察と連携して、夜間のパトロール、放置自転車対策、悪質な客引き対策などを更に強化、継続して実施していただいていることに感謝しています。

また、大阪府警察におかれましては、暴力団とのつながりも懸念される、半グレと呼ばれる、ぼったくり行為や恐喝などの犯罪行為を繰り返す不良集団の取締りにも取り組んでいただいております。引き続き、継続的な取締りをお願いしたいと思います。

大阪府におきましても、青色防犯パトロール車両を活用した客引き対策の広報啓発活動であったり、大阪府青少年健全育成条例に基づいて、条例の遵守状況を調査するために、ミナミ地区のネットカフェであったり、カラオケボックスなどの夜間営業を行う施設への立入調査を継続して実施しているところです。青少年にとって優良な社会環境を作っていくことで、少年による犯罪行為への加担、また加害者、被害者にならないということを追求し、ミナミ地区の風俗環境の浄化を図っていききたいと思います。

また、グリ下については、横山市長を中心に大阪府警察、中央区役所、地元の皆様、また支援団体の皆様と協力して、「グリ下の在り方」、「グリ下における対応」といった対策を作っているところです。

大阪が元気になれば、日本も元気になるので、大阪という街はすばらしい個性を持った街であると思っています。大阪府ではこれからも、皆様と一緒に「安全、安心な都市ミナミ」の実現に向けて皆様と一緒に取り組み、大阪の魅力を発信していきますので、よろしくお願いします。

○ 大阪市長

皆様におかれましては、各般に渡りまして、多大なるお力を賜っていますことを、改めてお礼申し上げます。

まず、1月1日に発生しました能登地震に関しましては、大阪市からも危機管理、上水、下水、消防、多くの職員が今も向かっております。被災された皆様には、本当にお見舞い申し上げますとともに、大阪市としても大阪府としっかりと連携して、被災地への支援をこれからも全力であたっていくたいと思います。大阪市にも順次避難される方もいらっしゃいます。本日時点で18から約20世帯の方が大阪市に避難されています。こちらに避難していただく、もしくは向こうの環境を改善するために、大阪市としても引き続き、尽力してまいります。

本日は、ミナミの活性化協議会ということで、先ほど知事からありましたとおり、ミナミはもう大阪の顔、大阪というと、多くの方がミナミの風景を思い浮かべます。特に今はインバウンド、海外の人の玄関口になっており、非常に重要なエリアです。このまちづくりにおいて、私も改めて感じるのは、地域の力が非常に突出して高いということです。地域の皆様の力、そして経済界の皆様の力、行政、警察が連携してまちづくりが非常に力強く進んでいる地域であります。こういった中でも、この会議の意義というのは、非常に大きいと思っております。

それでは、大阪市の取組みについてご説明いたします。

まず、客引き対策についてです。安心して、このミナミの街を楽しんでいただくために、課題となっています「客引き行為等の適正化対策」について説明します。

2014年の市条例の施行以降、2017年からはミナミ地区を集中的に巡回・指導する指導員の増員、条例改正による店舗や法人への対策強化を行い、2021年4月からは、常習違反者に対して、より短いサイクルで過料処分ができるよう条例を一部改正しております。

このような取組みにより、客引き行為者は、条例施行前から一定減少してきてはおりますが、しつこくつきまとう悪質な客引きが横行している事例もございます。こうした悪質な客引き行為者に対しては、違反店舗への立入調査や指導、悪質な客引き行為の多い箇所への指導員の集中配置を行う等して、厳正に対処しております。今後も、客引き行為の実態に即して巡回指導の運用を改善していくとともに、指導員の増員や巡回時間の延長など、幅広く検討してまいります。

また、昨年は大阪府警察と連携して合同パトロールを行い、違法な客引き行為者に対して指導等を行いました。大阪府警察のご協力に厚くお礼を申し上げますとともに、引き続きのご支援をお願い申し上げます。

客引き行為の適正化に向けましては、客引き行為への指導のほか、ミナミ全体として、客引き行為が禁止されているという気運の盛り上げや環境づくりを進めることも重要であると考えております。

そこで、地元商店街などのご協力をいただき、商店街での「客引き防止アナウンス」の放送や啓発ポスター掲示などの広報啓発も進めており、さらには、2021年4月から、来訪者に対して、客引きを利用しないよう呼びかける「客引き啓発員」の運用も始めております。このような活動を通じて、来られた方が「客引きが禁止されているんだ」と知っていただくことにより、理解が進むところでございます。皆様の一層のご支援、ご協力をお願いいたします。

悪質な客引き行為は絶対に許さないという強い決意のもと、皆様方と一層連携し、取り組んでまいりますので、皆様のご協力を何卒よろしく申し上げます。

続いて、「魅力とにぎわいのあふれるまちの実現」について数点、ご説明いたします。

まず、一点目はインバウンドです。先ほどご説明がありましたとおり、インバウンドに関しましては、回復基調にございます。新型コロナの拡大により減少したインバウンドですが、昨年10月には、2019年比でこれを上回るほど回復しており、ミナミにも同様に活気が戻っていると思います。また、これからもインバウンドの需要が見込まれる時期かと思っております。

2点目に、なんば駅前の広場化でございます。

なんば駅前を含むミナミエリアは、大阪の玄関口であり、このミナミの活性化が

大阪ひいては関西全体の活性化につながっていきます。

この間、地域の皆様と大阪市、関係機関が連携しまして、世界を惹きつける観光拠点として、歩行者にとって安全で、上質かつ居心地の良い空間の創出を図る「なんば駅前の広場化」に向けた取組みを進めてきたところであり、昨年11月23日に広場部を、仮称なんば広場として先行的にオープンすることができました。改めまして、地域の皆様に感謝を申し上げますとともに、この空間創り、これからも地域の皆様としっかりと力を合わせて尽力してまいります。

なんば広場におきましては、地域の魅力創出や活性化につながるよう官民一体となった持続可能な広場の運営スキームの構築に向け、なんば広場において、地元団体による維持管理・利活用を試行する社会実験を実施しております。この広場は、本当に大阪の新しい顔であり、これからも引き続き、地域の皆様、関係者の皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。

そして、このまちづくりの3点目ですが、御堂筋の活性化につきましては、2018年7月に御堂筋完成80周年記念事業推進委員会として取りまとめた将来ビジョンに、地元地域や関係機関の皆様と意見交換しながら事業を展開していくというプロセスを盛り込んだ、市としての将来ビジョンを2019年に策定したところです。

この将来ビジョンの実現に向けたファーストステップとして着手した千日前通から道頓堀川区間の側道歩行者空間化の整備は終了し、現在は、道頓堀川から長堀通区間の側道の整備を行っています。また、側道歩行者空間化により拮がった歩行者空間の利活用につきましても、具体的な方法、仕組み、必要な制度などに関し、地域の皆様と意見交換を進めております。

次に、放置自転車や違法看板など、歩行者の安全、安心な通行環境の確保につきましては、私としても、重要な課題と認識しております。大阪市としても、地域のご協力や官民による自転車ワーキングでの議論を踏まえ、放置自転車の撤去強化や駐輪場の確保、周辺駐輪場への案内誘導の表示及び啓発活動、違法看板の指導などに取り組んでいます。

そして、新たな取組みの一環として昨年11月からは、放置自転車を撤去するまでの警告時間を限りなく短縮し、警告後すぐに撤去作業に着手するリアルタイム撤去の試行を開始しました。この手法による自転車放置の抑制効果なども検証し、更なる対策を進めてまいります。ミナミエリアには、地域で働く従業員や来訪者の自転車が非常に多くなっており、道路を適正に利用し、安全安心のまちづくりを進めようという機運を高めていくためには、引き続き、地域の皆様のご協力をどうかよろしくようお願い申し上げます。こういった取組みを通じまして、公民の連携を一層強め、なんば広場から御堂筋、さらに道頓堀川の水辺空間まで回遊できる、連続した、人中心の魅力ある空間を生み出すことができれば、ミナミエリアの更なる魅力の向上につながっていくと考えております。

先ほど、知事からもありましたとおり、来年はいよいよ万博が控えております。大阪、関西、日本が一丸となって、新たな起爆剤として万博を位置付けて、そして、子供たちに夢を感じてもらうため、今、全力で2025年4月の開催に向けて取組みを進めております。多くの来訪者の方、来阪者の方も見込まれております。この街中の取組みを加速させますとともに、知事からまさにファーストパビリオンという言葉がありました。海外の方々が一番最初に来て、最初に出会うパビリオンが、まさにこのミナミのエリアだと思います。こういった意味で、街づくりをしっかりと進めて、世界に冠たる大阪の顔として、ミナミエリアのさらなる活性化をすすめようと、大阪市としても引き続き尽力してまいります。

○ 大阪府警察本部長

始めに、ご臨席の皆様には、平素から私ども警察活動に関しまして、多大なご支援とご理解を賜っておりますことに対しまして、厚く御礼を申し上げます。ありがとうございます。

そして、1月1日に発生いたしました能登半島地震に関しまして、被災者の皆様にお見舞いを申し上げたいと思います。

私ども大阪府警察からも、延べ人数約600名の部隊を被災地に派遣しておりますところ、一日も早い被災地の安寧と復興を心から祈念いたしております。

ここ大阪ミナミにつきましては、先ほどもお話がございましたが、コロナ禍と同等以上のにぎわいを見せておりますところ、私ども大阪府警察では、誰もが安全で安心して楽しめるミナミの実現に向けまして、後ほどご説明する様々な対策を推進しているところでございます。

その結果、南警察署管内の昨年の刑法犯認知件数につきましては、約4,780件という数字になっております。ミナミ活性化協議会が設立された2005年、平成17年当時の南警察署管内での刑法犯認知件数は約9,140件でございました。したがって、昨年4,780件ということは、ほぼ半減ということでもございまして、皆様方のご協力のおかげをもって、この数字が実現できたのだと考えております。深く感謝申し上げます。

ミナミが健全で魅力あふれる街であり続けるためには、街の経済的、文化的繁栄はもちろんのことでもございますが、治安の向上との両立が重要だと思っており、大阪府警察といたしましては、引き続き治安の向上の面で皆様とともにミナミの環境浄化に努めてまいりたいと考えております。

私からは、これから大きく二つのトピックをお話したいと思います。

一つ目は、大阪府警察の昨年の主な取組み、二つ目はこれからの取組み方針についてでございます。

まず、昨年の主な取組みにつきましては、四つお話をしたいと思います。

風俗関係事犯対策、組織犯罪対策、交通対策、いわゆるグリ下への対応についての四つをお話したいと思います。

まず、風俗関係事犯対策についてでございます。

客引きの取締りについてですが、継続して取り組んでおります。一昨年7月に改正をいたしました迷惑防止条例を効果的に活用いたしまして、府下の捜査員をミナミ地区に投入した客引き一斉取締りを毎月実施しており、昨年は被疑者47人を検挙しているところでございます。

中でも、ホストクラブへの客引きにつきましては、執拗な態様が目立つ状況にありましたので、女性捜査員を多数運用いたしまして、特に取締りを強化いたしております。そして、違法風俗店の取締りににつきましては、いわゆるぼったくりを行ってございました無許可風俗店の他、客に賭博をさせていたアミューズメントカジノ店やバカラ賭博店などを摘発しているところでございます。

こういった違法風俗店は、その収益の一部が暴力団など犯罪組織の資金源となっている状況が窺えることから、その背後関係や資金源に切り込んだ取締りについて努めているところでございます。

売春目的の客待ちにつきましては、近鉄難波駅周辺の様子がソーシャルメディア、SNSなどでも取り上げられまして、社会的にも注目を集めたものでございます。これにつきましても一斉に摘発をし、その一掃を図っているところであります。

話を聞きますと、被疑者の多くが、売春による収益をホストクラブで使っていたということがわかりましたので、ホストクラブ全店に対する立入りを実施いたしまして、風営法の遵守に加えまして、多額の売掛金による問題が生じないよう指導を行っているところでございます。

主な取組み二つ目は、組織犯罪対策についてでございます。

まず、暴力団の対立抗争につきましては、六代目山口組と神戸山口組に対する16回目となる特定抗争指定暴力団の指定の更新を行っており、引き続き大阪市を警戒区域に指定いたしまして、両団体の活動を大幅に制限するなどの対策を講じているところでございます。

また、指定暴力団絆會、元々兵庫県尼崎市に本部事務所がありました。絆會が本部事務所をミナミの一角に移転させております。これにつきましても、大阪府暴力団追放センター等と連携して、使用を差し止める仮処分を申し立て、仮処分が昨年末に決定したところでございます。

こういった取組みと併せまして、客引きの縄張り争いなど、暴力団の利権にからむ事件も複数検挙いたしてございまして、暴力団の組織数につきましては、平成17年当時と比べまして、大阪府下では6割減少、ミナミ地区でも4割減少となっているところでございます。

外国人犯罪につきましても、中国人による組織的詐欺事件を検挙したほか、不法

就労、不法滞在の防止に向けまして、取締りと併せて、ミナミ国際交流協議会や清水通商店街のご協力をいただいたのぼり旗の掲出や、また道頓堀の TSUTAYA さんの大型ビジョンを利用した啓発活動に取り組むなどしているところでございます。

主な取組みの三つ目は、交通対策についてでございます。

歓楽街を取り囲む形で定期的に飲酒検問を実施しております。

このほか、昨年7月、道路交通法が改正されまして、特定小型原動機付自転車等の電動モビリティに対する取締りの強化をしているところでございます。特定小型原動機付自転車は、16歳以上でしたら運転免許が不要である手軽な乗り物として急速に普及いたしているところですが、ほかの電動モビリティも含めまして、交通ルールを無視した違法走行が多く見られ、それに起因する事故も発生していることから、信号無視などの交通事故に直結する違反も集中的に取り組まれているところでございます。

続いて四つ目のテーマとしてグリ下への対応でございますが、非行少年の補導に加えまして、オーバードーズや自殺を企図する人たちの保護にも努めているほか、グリ下に集まる児童の心の弱さにつけ込んだ犯罪の取締りにもあたっているところでございます。

以上が昨年の当府警における取組みでございます。

次に、大きな二つ目といたしまして、今後の府警の取組み方針について申し上げたいと思います。

最近のミナミの情勢といたしましては、治安情勢あるいは風俗環境につきましては一定の改善がみられるところでございますが、これまで減少傾向にあった刑法犯の認知件数が、一昨年から増加に転じております。また、人の流れの増加に伴いまして客引きも増加しておりますし、六代目山口組と神戸山口組による対立抗争などにつきましても予断を許さない状況にあります。

そして、暴力団に加えまして、SNSを通じるなどして離合集散を繰り返す、私どもが「匿名・流動型犯罪グループ」と呼んでいるグループが、特殊詐欺などの犯罪で得た収益を元手に風俗営業等の事業にも進出するなど、その実態を隠しながら、歓楽街の利権を得ようと目論んでいる状況も窺えるところでございます。

こういった状況を踏まえまして、引き続き、客引きあるいは暴力団等に対する各種対策を強力に推進するとともに、「匿名・流動型犯罪グループ」に対する実態解明と壊滅に向けた取組みについても強化いたしまして、更なるミナミの治安の改善と風俗環境の浄化に取り組んでまいりたいと考えております。

来年、いよいよ大阪・関西万博が開催されますが、万博を控えまして、今後、ミナミの街には、これまで以上に国内外から多くの方々を訪れることになるかと私どもは予想しております。

大阪府警察といたしましては、世界に誇れる安全で安心な、また活気あふれるミ

ナミの街の実現に向けまして、地域のみなさま、大阪府、大阪市等関係者の皆様としっかり連携しながら、各種警察活動を一層強力に推進してまいりますので、引き続き、皆様のご理解とご協力のほどを賜りますようよろしくお願いいたします。

○ 大阪商工会議所副会頭

日頃は、大阪商工会議所の諸活動にご尽力賜りまして、心からお礼申し上げます。ありがとうございます。

また、1月1日の能登半島大震災で亡くなられた方につきましては、心からお悔やみを申し上げますとともに、今現在、続いております被災生活をされておられる方々に対しまして、心からお見舞い申し上げたいと思います。

皆様から、これまでの取組みの成果と課題をお伺いし、今のミナミのにぎわいは一朝一夕にできたものではないということを改めて認識をしました。誰もが安全で安心して楽しめるまちの実現には、日々のたゆまぬ取組みが欠かせません。岡本会長、福長発起人をはじめ、地元の皆様の地道な取組み、そして吉村知事、横山市長、向山府警本部長はじめとする関係者の皆様のご支援に心から感謝を申し上げます。

大阪商工会議所では、「都市魅力再構築」を中期計画の柱に掲げています。

なかでもミナミは、大阪都市の魅力が凝縮した、極めて重要なエリアで、食やエンターテインメント、商店街、道頓堀川、ネオンなど、大阪を象徴するにぎわいが、すべて揃っています。

昨年11月にオープンしたなんば広場をはじめ、側道の歩道化工事が進む御堂筋など、万博を見据えて、再整備をされる都市空間もたくさんあります。すでにコロナ前と同じくらい、多数の外国人旅行者にお越しいただいておりますが、大阪のおもてなしの玄関口であるミナミの重要性はますます高まっていると感じています。

そこで、私から2点、申し上げます。

1点目はまちづくりにおける公民連携についてです。大阪商工会議所は、2022年に地元の町会や企業の方々などと「まちづくりビジョン」を取りまとめ、万博時になんば広場を活用した、まちなか全体でのフェスティバルの開催などを提案しました。昨年6月にはシンポジウム「万博まちなか会場をどうつくるか」を大阪商工会議所と日本経済新聞社様で開催し、多くの方々に参加いただきました。万博開催時には、万博の会場内だけでなく、ミナミのまちの魅力を体感いただく機会を提供することで、大阪の都市ブランドの向上や国際競争力の強化につなげていきたいものです。

そのためには、なんば広場のようなにぎわい拠点においては、民間の発想を生かした柔軟な活用とともに、維持管理、特に、安全・安心における行政や警察のお力添えが不可欠です。また、人気スポットに集中しがちなお客様を周辺の商店街などに回遊してもらうための仕組みづくりも重要です。いずれも、公と民が緊密に情報

共有し、しっかり協働しないと実現できないことだと思いますので、引き続き、まちづくりにおける公民連携について、どうぞよろしくお願い申し上げます。

2点目は、大阪南部エリアの活性化についてであります。大阪商工会議所では、難波、新今宮、阿倍野・天王寺・上本町を結ぶ大阪都心のミナミエリアを起点に、大阪府南部の泉州と南河内を含む地域を「グレーターミナミ」と位置づけ、同地域の活性化に取り組んでいます。

昨年9月には、「グレーターミナミ活性化シンポジウム」を大阪商工会議所と読売新聞大阪本社様で開催させていただきました。グレーターミナミのエリアで地域活性化に取り組んでおられる方々にプロジェクトの進捗・成果を紹介していただき、今後の発展に向けた意見交換を行いました。

大阪商工会議所では今年度から新たに、「グレーターミナミ推進委員会」を設置し、このエリアの活性化に、一層注力してまいります。大阪都心のミナミエリアは、素晴らしい情報発信力を持っています。泉州・南河内など大阪府南部のエリアにも大阪都心のミナミエリアのにぎわいを波及させ、活性化につなげていけるよう、ご支援ご協力をよろしくお願い致します。

最後になりますが、大阪商工会議所は、今後とも、地元の皆様とともに、ミナミの発展に寄与してまいります。引き続き、どうぞよろしくお願い申し上げます。

○ 関西経済同友会常任幹事事務局長

能登半島地震に際しましては、亡くなられた方にお悔やみ申し上げますとともに、避難されている方にお見舞い申し上げます。関西経済同友会としても出来る限りの努力をしてまいりたい、支援してまいりたいと思います。

私ども、関西経済同友会がなぜここに座っているのかと申しますと、2005年、平成17年、ちょうどこの協議会が出来た頃に、「大阪・ミナミの浄化と活性化に向けて」という提言を出したからです。当時はものすごく、客引きなどがひどかったわけです。そこで、ちょうどこの協議会が立ち上がり、関西経済同友会も参加させていただきました。様々な方が、努力されて今があるということだと思っております。

犯罪の手口も高度化したり、複雑化したりしていますので、いたちごっこのようなところもあります。それだけに、関係しておられる方々の努力に、深く敬意を表しますとともに、我々も出来る事を一緒にやっていきたいと思っております。

私から申し上げたいことは一つだけです。我々関西経済同友会は、関西を今後どうやっていくのか、どうしたら食べていけるのか、3年くらいかけて色々議論したわけです。そして、出てきた結論というのは、ものすごくシンプルなものでした。

それは、「いのち輝く都市を目指そう」ということでした。この提言は2021年に取りまとめて発表しています。

「いのち輝く」ということを柱に据えれば、我々は反省しないといけないわけで

す。車が輝いていたり、ビルが輝いていたり、企業の利益が輝いていたりした社会を作ってきました。しかし、今は、人間や動物、地球といったものが輝いてるのかどうか問われているのだろうなという風に思っています。

ミナミに当てはめて考えてみると、「車が輝く」から「人が輝く」に舵を切られました。今、難波で取り組んでおられ、素晴らしい成果をあげておられると思います。こうしたことを広げていくことが大事だと思います。企業の利益についてみると、「利益輝く前に、お客様や従業員のいのち輝く」という風に変えていき、「キャッチバーが輝くのではなくお客さんが輝く」、「自転車輝くのではなくて歩行者が輝く」ということになるのではないかという風に思います。

そのためには、協議会でいろいろ努力していると思いますが、まだまだ制度とかルール、取組みが必要かと思います。こういったところは、引き続き、一緒に頑張っていって、一緒に変えていけば、関西も輝いていけるのではないかなと思います。

その中で最近考えているのは、ちょっと突拍子もない話をしますが、「笑い」ということなのです。最近、東京の人が、こちらに来て、海外の人も交えてシンポジウムをしたいと相談を受けたのです。その時に、東京の人が言っていたのが、「大阪というのはお笑いだから、お笑い中心でやりたい」とのことでした。そこで、私は、「いや、お笑いは関西の笑いの一部ですよ」ということを申し上げたのです。

東京の人は、子供のころから「人に笑われることはするな」と言われるようですが、関西は、どっちかというところ、「人に笑ってもらってなんぼ」みたいなところがあります。

なぜかよく考えれば、やはり関西は今までたくさんの争いをしてきたのです。東京はせいぜい400年位ですけれども、関西は古墳時代からずっと争ってきて、「なんとかせないかん」と思って、人と人とを結びつける、そういうものの中に、笑顔を取り入れてきたのではないかと、人と人が笑顔で結びつくことによって、信頼関係を打ち立て、喧嘩しないで済む社会を作ってきたのではないかと思います。世の中は本当に混乱していますけれど、笑い合うことが大切だという考えだけでも関西から発信し、世の中に、世界に広げていければ、素晴らしいことになるのではないかと思います。

他にも色々やらないと「いのち輝く」ことになりませんが、これまでの様々な考えを変える、そういったところを、同友会は引き続き頑張っていきたいと思っています。皆様とともに、歩んでいきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

○ ミナミ環境浄化推進協議会発起人

平素は、ミナミの歓楽街環境浄化、地域の活性化のために、皆様の活発な活動に、心から感謝しているところでございます。

特に、客引きの問題については、大阪市と大阪府警察が中心となって、指導、取

締りや合同パトロールなど、様々な取組みを行っていただき、数年前と比べてかなり改善していると感じています。

そのほか、暴力団や「半グレ」と呼ばれる犯罪集団に対する取締りを強化していただき、地元として、心強く感じており、大変感謝しております。引き続き、環境浄化に向けた取組み、取締りの強化をお願いします。

ここで改めて、私から要望があります。

先ほどもお話しましたが、客引き行為者は減少しているものの、悪質な客引き行為は、未だ一定数存在している状況にあります。私は、ミナミの街を「世界一、安全・安心なまち」にして、世界の「モデル地区」にしたいと考えております。そのためには、悪質・巧妙化する客引きの排除に向けて、更なる対策が必要であると考えております。

そこで、悪質な客引き行為を排除するため、大阪市の客引き指導員の増員や更なる効果的な運用、そして、大阪市と大阪府警察を中心とした更なる取締りの強化などを検討していただきたいのです。

このような対策をすることで、悪質な客引き行為に対して、「客引きを行わせない環境」を構築することができ、安全で安心なミナミになると、私は強く感じています。

今後、大阪・関西万博、さらにはIRの誘致などにより、再びミナミが世界的にも注目され、多くの方々が訪れるようになります。これから、ミナミが繁栄していくには、「ミナミに来てよかった」、「もう一度行きたい」と思ってもらうことが大切でございます。そのためにもミナミのまちを安心して訪問し、安全に楽しめることが必要です。

今後も「みんなでつくろう ええ街ミナミ」を合言葉に、行政、警察、各団体と連絡を密にし、頑張っていきたいと思っております。

5 共同アピールの採択

意見交換後、出席者全員一致で「第19回ミナミ活性化協議会代表者会議共同アピール」を採択した。

6 啓発イベント等

代表者会議終了後、同所において啓発イベントを行い、大阪府警察音楽隊の演奏の後、決意表明（シュプレヒコール）を実施した。

第 19 回 ミナミ活性化協議会代表者会議 共同アピール

われわれ、ミナミ活性化協議会は、平成 17 年の設立から、地元・行政・経済界が連携したオール大阪体制を確立し、大阪ミナミの環境浄化と美化を推進するとともに、健全で魅力あふれるまちづくりを進めるなど、誰もが安全で安心して楽しめるミナミの実現に向けて多くの対策を推進してきた。

その結果、ミナミは、大阪だけでなく日本の玄関口として、国内外から多数の観光客が訪れる、まさに世界を惹きつける魅力あふれるまちとなった。

これはミナミのまちづくりに携わる多くの人たちが、伝統・文化・環境を守りつつ、社会経済情勢にも対応して、まちの安全・安心の維持向上、魅力の創出・発信にたゆみなく取り組んできた賜物である。

2025 年大阪・関西万博は、大阪が世界の脚光を浴びる絶好の機会であり、国内外から多くの人々が訪れることから更なるミナミの活性化を図り、世界に誇れる安全・安心かつ明るく楽しい活気あふれるミナミの街を一層実現させていくことで、ミナミを訪れる全ての人々が「ミナミに来てよかった」と思えるよう、「みんなでつくろう ええ街ミナミ」を合言葉に、総意・総力で次の 2 点を目標に掲げて、より一層取組を推進することとした。

一、 『安全・安心かつ明るく楽しく人気ある快適なまちの実現に向けて』

悪質・巧妙化する客引きの指導・取締り及び排除活動を強化するとともに、客引きを利用しないための来訪者への広報啓発、違法店舗の排除や客引きを活用する店舗の根絶など、ビルの健全化に向けた対策を推進する。また、放置自転車撤去や駐輪場設置等の効果的な放置自転車対策を推進するとともに、各種犯罪対策を継続するなど、まちの環境浄化に根底から取り組み、安全・安心かつ明るく快適に楽しめる人気の高いまちづくりを推進する。

一、 『魅力とにぎわいのあふれるまちの実現に向けて』

大阪・関西万博に向けて、人情味とおもてなしの心にあふれ、食や文化が融合するミナミの魅力に誇りをもち、地元へ愛され、更には世界から注目され続ける持続可能な観光地作りとおもてなしを改めて充実させるとともに、ミナミの新たなシンボルとして、人中心の居心地良く安心感にあふれた「なんば広場」「御堂筋の歩行者空間」を実現するため、地元・行政・経済界が一体となり、世界を惹きつける魅力とにぎわいのあふれるまちづくりを推進する。

令和 6 年 1 月 29 日

【ミナミ活性化協議会】

大阪府知事	吉 村 洋 文
大阪市長	横 山 英 幸
大阪府警察本部長	向 山 喜 浩
ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会会長	岡 本 敏 嗣
ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会発起人	福 長 徳 治
大阪商工会議所会頭	鳥 井 信 吾
一般社団法人関西経済同友会代表幹事	角 元 敬 治

～賛同団体～

ミナミまち育てネットワーク
公益社団法人関西経済連合会
公益財団法人大阪観光局